

主な事業の紹介

○は「笑顔のまちづくりプログラム」事業
☆は新規事業

健やかでやさしさのあるまち 【健康・福祉】

- 〈市民福祉関係〉
- 生活保護の支給…………… 213億3,900万円
 - 児童手当の支給…………… 92億2,757万円
 - 障害福祉サービス…………… 74億9,209万円
 - 重度心身障害者医療助成…………… 20億3,557万円
 - ☆臨時福祉給付金の給付…………… 17億8,937万円
 - 子ども医療助成…………… 12億9,482万円
 - 精神障がい者・難病患者等総合支援…………… 11億1,001万円
 - 母子家庭医療助成…………… 7億1,272万円
 - 放課後児童の健全育成…………… 3億8,558万円
 - 各種がん検診…………… 3億2,430万円
 - 特定健康診査の実施…………… 2億9,722万円
 - すこやか介護支援…………… 1億7,436万円
 - 小児救急医療支援補助…………… 1億7,100万円
 - 生きがいデイサービス…………… 1億3,094万円
 - 児童発達支援センターひまわり園の運営…………… 1億2,296万円
 - ふれあいいきいきサロン…………… 1億1,243万円
 - 不妊治療費助成…………… 8,701万円
 - 中島等地域医療の確保…………… 6,445万円
 - 病院群輪番制病院運営補助…………… 5,843万円
 - 生活保護受給者就労支援…………… 3,998万円
 - 生活保護適正実施の推進…………… 3,517万円
 - 事業所内保育施設の整備促進…………… 3,428万円
 - ☆松山赤十字病院整備補助…………… 3,200万円
 - 節目歯周疾患検診…………… 1,828万円
 - 自殺対策等精神保健の推進…………… 922万円
 - 個別妊婦歯科健康診査…………… 903万円
 - ☆子育て支援プロジェクト…………… 599万円
 - 障がい者工賃レベルアップ支援…………… 450万円

生活に安らぎのあるまち 【安全・安心】

- 〈総務理財関係〉
- 中島支所庁舎の改修…………… 4億260万円
 - デジタル防災行政無線の整備…………… 1億4,000万円
 - 防災計画策定…………… 4,033万円
 - 防災意識の啓発推進…………… 482万円
- 〈文教消防関係〉
- 小・中学校校舎の耐震化…………… 16億224万円
 - 消防団ポンプ設置所の耐震化…………… 1億9,543万円
 - 非常備消防車両の購入…………… 6,683万円
 - ☆消防通信指令管制システム更新…………… 6,620万円
 - ☆○救急ワークステーション整備…………… 1,888万円
 - 自主防災組織の充実・活性化…………… 510万円
 - ☆○命を守る！防災士の養成…………… 480万円
- 〈市民福祉関係〉
- ☆○医療救護活動体制整備の補助…………… 1億円
 - 防犯協会への防犯灯設置補助…………… 5,356万円
 - ふれあいセンター建替え…………… 1,015万円
- 〈都市企業関係〉
- 上水道施設の耐震化(管路・浄水場・配水池など)…………… 14億2,870万円
 - 工業用水管の耐震化…………… 6億2,660万円
 - 市営住宅の改修…………… 3億2,464万円
 - 上水道給水ルートの確保…………… 2億4,450万円
 - 特定建築物耐震診断補助…………… 1億1,408万円
- 〈環境下水関係〉
- 浸水対策(重点10地区・その他地区)…………… 14億6,926万円
 - 下水道総合地震対策…………… 3億9,597万円
 - がけ崩れ防災対策…………… 3,780万円
 - ☆○下水道BCP(事業継続計画)策定…………… 1,300万円

地域の魅力・活力があふれるまち 【産業・交流】

- 〈総務理財関係〉
- スポーツینگシティまつやまの推進…………… 7,047万円
 - 瀬戸内しま博覧会…………… 5,555万円
 - 愛ランド里島構想の推進…………… 5,008万円
 - ことばのちからイベント…………… 4,351万円
 - 「坂の上の雲」を軸とした21世紀のまちづくり…………… 2,828万円
 - 坂の上の雲ミュージアム企画展示…………… 2,583万円
 - 三津浜地区の活性化推進…………… 2,224万円
 - 風早レトロタウン構想の促進…………… 1,707万円
 - ☆○合併10周年記念事業の実施…………… 665万円
 - ☆○里島体験滞在型交流施設整備…………… 549万円
- 〈都市企業関係〉
- 松山外環状道路の整備…………… 19億2,730万円
 - 安全歩行空間整備…………… 7億9,580万円
 - 交通結節点整備…………… 3,240万円
 - 自転車ネットワークの整備…………… 486万円
 - ☆○花園町周辺地区放置自転車対策…………… 450万円



全国で好評を博した松山発オリジナルアニメーション「マッツとヤンマとモフリさん」



熱いことばのバトルが繰り広げられる俳句甲子園



日本一の産地化を目指すライム



太陽光発電システム



整備予定の花園町通り(イメージ)



多くの人でにぎわう風早レトロまつり

都市ブランド 戦略の推進

ブランドメッセージ「いい、

加減。まつやま」を基に都市イメージの向上を図るとともに、メディアを効果的に活用するなど、首都圏を中心に積極的なプロモーション活動を推進します。

笑顔が「集まる」プログラム

41事業
66億3,088万円

都市ブランド力の向上や産業の活性化による雇用創出、また環境にやさしい新しいまちづくりを通して、多くの笑顔が集まる松山を目指します。

第6次松山市総合計画に掲げる将来都市像の実現を先導する取り組みとして、「集まる」「育む」「守る」をキーワードにした「笑顔のまちづくり」プログラムを推進することで、松山に住む人が幸せや誇り、愛着を感じてもらうとともに、市外の人にも選ばれるまちづくりを目指します。

笑顔のまちづくりプログラム 始動!

ことばを大切に まちを全国発信

第17回俳句甲子園をはじめ、楽曲「この街で」誕生10年目記念イベントや、ことばのまつりや群読コンクールなどを開催することで、「ことば」を大切にすることを、全国に発信します。

中心市街地の商業施設 等の再開発を支援

高齢者の雇用を 支援

常用雇用を含めた多様な就業機会の提供を図ることを目的に「(仮称)高齢者就労総合相談窓口」を新たに設置し、求職者と事業者のニーズをマッチングさせた相談支援を行います。

ヒジキのブランド化、ライム・ アボカドの産地化へ

松山産ヒジキのブランド化を目指し、商品開発や宣伝、

花園町通りの整備

歩いて暮らせるまちづくりのシンボルロードとして、電線類の地中化に取り組みほか、周辺地区の安全な歩行空間を確保するため、駐輪場整備に向けた調査を行います。

クリーンエネルギーなどの 導入を促進

太陽光発電や太陽熱利用システム、家庭用燃料電池システムの設置費用を助成するなど、日照時間が長い本市の特色に合わせた再生可能エネルギーの利用を促進します。

笑顔 「育む」 プログラム

50事業
53億7,896万円

将来のまちづくりを担う子どもと、子どもを育てる親を地域社会全体で支えるとともに、知恵や知識を伝え合い、生き生きと人が輝くまちをみんなで育てることで、市民の笑顔を育みます。

北条・島しょ部の 活性化

風早レトロタウン構想の実現に向け、北条地域の活性化を担う風早活性化協議会の取り組みを支援します。また愛ランド里島構想に基づき島

地域住民が主体の まちづくりを推進

住民自治組織「まちづくり協議会」を支援し、地域住民が主体的にまちづくりを進めることができる環境づくりに努めるほか、身近な地域活動を行っている町内会連合会などへの財政支援制度や新たな保険制度を創設することで、地域住民が安心してコミュニティ活動に参加できる環境づくりに取り組みます。

〈産業経済関係〉

- 新規産業の育成……………14億488万円
- 森林再生緊急対策……………5億1,847万円
- 水産基盤ストックマネジメント……………1億9,450万円
- 次代につながる果樹産地生産力向上支援……………7,171万円
- 都市ブランドの推進……………5,690万円
- 有害鳥獣捕獲緊急対策……………4,227万円
- 国際経済交流の推進……………3,304万円
- 雇用の対策育成支援……………3,109万円
- 鹿島賑わい活性化……………2,507万円
- ☆持続可能な農業の構築……………1,793万円
- まつやま農林水産物ブランド活性化対策……………1,789万円
- ☆スマイル松山プロジェクトの推進……………1,735万円
- ☆高齢者の雇用対策……………1,154万円
- 産業立地セールス……………1,044万円
- ☆中央卸売市場冷蔵庫棟改修……………926万円
- 修学旅行の誘致促進……………560万円
- ☆「せっかく松山、やっぱり瀬戸の小魚」魚食普及推進……………379万円
- ☆松山産ヒジキブランド化の推進……………247万円

健全で豊かな心を育むまち
【教育・文化】

〈総務理財関係〉

- 総合コミュニティセンター建物改修……………4億667万円
- 愛媛国体の開催推進……………1,767万円

〈文教消防関係〉

- 東中校区小中連携校整備……………8億4,975万円
- よりよい学校給食の推進……………5億7,413万円
- 私立幼稚園就園奨励費の補助……………5億2,427万円
- 松山市教育センター設置……………2億4,950万円
- 障がい等のある子どもの「学校生活支援員」活用支援……………1億3,958万円
- 放課後子ども教室の運営……………5,916万円
- New Dream Plan(特色ある学校づくり)……………5,000万円
- オンリーワンのふるさとづくり推進……………3,000万円
- 学習アシスタント活用支援……………2,800万円
- ☆学校給食共同調理場整備計画の策定……………2,044万円
- 葉佐池古墳の整備推進……………1,668万円
- 小中学生文化体験学習……………1,602万円
- ☆小・中学校等防犯カメラ設置……………1,398万円
- いじめ対策総合推進……………1,270万円
- 幼稚園庭芝生化……………733万円
- 栄養教諭を中核とした食育推進……………621万円

緑の映える快適なまち
【環境・都市】

〈都市企業関係〉

- 松山駅周辺整備……………9億151万円
- 生活道路整備……………3億4,359万円
- 優良建築物等整備支援……………3億3,162万円
- 地籍調査……………2億2,340万円
- 石手川緑地整備……………1億8,968万円
- 北条公園(リフレッシュパーク)整備……………1億6,287万円
- みんなで育む美しい街並みと賑わい創出……………1億3,638万円

〈環境下水関係〉

- 下水道施設の長寿命化……………11億7,914万円
- 浄化槽対策・設置補助等……………3億9,898万円
- 中央浄化センター消化ガス発電設備整備……………3億5,000万円
- 横谷埋立センター延命化……………3億4,400万円
- クリーンエネルギー等導入促進……………1億9,820万円
- 産業廃棄物最終処分場支障等除去……………1億6,348万円
- ☆一般廃棄物ごみ処理基本計画の改定……………313万円

〈水資源対策関係〉

- 節水推進・雨水利用の促進……………4,672万円
- 地下水保全策の検討……………1,505万円

市民とつくる自立したまち
【自治・行政】

〈総務理財関係〉

- ☆財務会計システム再構築……………7,102万円
- ☆公共施設再編成計画の策定……………996万円

〈市民福祉関係〉

- ☆地域協働活動応援……………6,064万円
- 地域におけるまちづくり推進……………3,808万円
- ☆総合窓口センターのリニューアル……………2,044万円
- 市民との対話事業……………162万円



夜間に診療する急患医療センター



教育センター(イメージ)



芝生の上で遊ぶ子ども



耐震化された校舎



全国一の人数を誇る本市の防災士



雨水タンクの設置に対する助成制度を継続



特定健康診査が無料に

北条公園に 野球場を整備

北条スポーツセンター東側の市有地に、野球場を2面整備し、市内の野球チームが利用できるグラウンドを確保することで、スポーツ拠点機能の充実を図ります。

アーバンデザイン センターを設置

公・民・学が連携したまちづくりの新たな拠点「アーバンデザインセンター」を市内中心部に設置し、本市の目指すべき将来都市像の実現に向け、市民の皆さんやさまざまな民間団体、市内4大学などと協働しながら、全国に誇れる松山型のまちづくりを進めていきます。

子どもの命と 健康を守る

関係機関と連携し、24時間365日の救急医療体制を維持するとともに、引き続き小学校就学前までの医療費完全無料化と、小学校3年生までの入院費を助成し、子どもの健康増進につなげます。

不妊治療費助成額 などを見直し

特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を減らすため、「採卵から凍結胚移植に至る治療」を行った場合の助成限度額を引き上げます。

市独自の 教育センターを整備

東雲小学校と東中学校の併設型校舎整備にあわせ、同小

保育所・幼稚園の 園庭芝生化

新たに保育所・幼稚園の各2園において芝生化に取り組みことで、子どもがのびのびと遊び、豊かな感性を育むとともに、地域住民の交流の場としての環境整備に取り組みます。

給食共同調理場の 整備計画を策定

将来にわたり安定した給食を提供するため、老朽化が進む学校給食共同調理場施設の耐震・老朽化調査を行い、新たに整備計画の策定に取り組みます。

笑顔を守り プログラム

52事業
78億4,750万円

誰もがお互いを尊重し合うとともに、災害などに対する不安を抱くことなく、健康に暮らせるまちをつくることで、市民の笑顔を守ります。

公共施設の耐震化 を推進

小中学校の耐震化に前倒しして取り組むとともに、上下水道施設や消防団ポンプ蔵置所、ふれあいセンター、市営住宅、中島支所などの公共施設の耐震化を進めます。

救急・医療体制の 充実

救急救命士の教育体制を充実させ、医師が同乗の救急出動体制を24時間に拡充するため、救急ワークステーションを整備し救命率の向上を図るほか、市医師会が行う災害時の医療救護活動体制整備への助成を行います。

大学と連携して 防災力強化

防災活動をけん引する防災リーダーを育成するため、愛媛大学と連携した防災士養成講座を制度化し、自治体別で防災士数全国一を誇る本市の防災体制のさらなる強化を図ります。

生活保護受給者の 就労を支援

職場体験やセミナーへの参加対象者を拡大するとともに、就労準備カウンセリング業務を新たに加え、希望する就労条件や企業などの人材ニーズを把握した上で、企業とのマッチングを行い、受給者の自立支援につなげます。

市内中心部などの 浸水対策

平成24年8月のゲリラ豪雨で浸水被害の大きかった市内中心部に雨水貯留施設を整備するなど、市内各地で浸水対策の充実を図ります。

愛媛国体準備体制 の強化

平成29年の愛媛国体に向けた機運の醸成と、本市で開催される多くの競技会の実施に向けた準備に取り組みます。

節水型都市づくり の推進

40歳以上70歳以下の節目の年齢の人や妊婦を対象に、市内登録医療機関で歯周疾患検診や歯科健診を引き続き実施し、口腔の健康管理と低体重児出生の予防を図ります。

40〜74歳の国保対象者の 特定健康診査を無料化

医療費の伸びの適正化や、生活習慣病予防の徹底を目的に、地域健診、個別健診の自己負担額を無料化し、受診率向上に取り組みます。

歯科健診による 予防医療

40歳以上70歳以下の節目の年齢の人や妊婦を対象に、市内登録医療機関で歯周疾患検診や歯科健診を引き続き実施し、口腔の健康管理と低体重児出生の予防を図ります。